



議会だより

第48号

子どもの笑顔が未来に続く
幸せ実感都市木津川

木津川市議会



新予算を審議本 会 議..... 2~3

児童数増加に対応予算特別委員会..... 6~8

15人が市政を問う一 般 質 問... 16~23

わたしの意見 24

今年の豊作を祈って いごもり祭

涌出宮(山城町)

続く新予算を審議

3月定例会は、2月21日から3月18日まで、26日間の会期で開催した。
同意8件・議案34件・議員提案6件・請願2件を審議し、議員提案2件・
請願1件（一部採択）を除き同意・可決・採択した。

31年度 一般会計予算

予算総額283億700万円、前年度より2900万円の減額。

予算規模は、前年とほぼ同じで、東中央線整備事業と新学校給食センター建設費等に配分。

重点施策として、加茂人権センター耐震補強等改修事業、小谷児童館移転改修、城山台小学校の増築、城山台児童クラブの増設など。

反対討論

市民サービスを削り市民にガマンを強いる予算。北陸新幹線延伸など大型開発に熱心で、待機児童を解消せず保育園の廃止と民営化を進める予算。

宮嶋 良造

賛成討論

子育て、教育、道路整備に重点配分された予算であり、特に城山台地域の子育て環境づくりへの配慮を評価する。賛成。

森本 隆

反対討論

「より一層の経費削減を」と言う議員は議会での役割を理解していない。健全財政とは市民を泣かせて作るものではない。地域格差があり反対。

西山幸千子



工事が進む天神山線（東中央線整備関連事業）

賛成多数で可決 （賛成14人・反対5人）

後期高齢者医療予算

予算総額8億7千万円、前年度比3200万円増。

Q 消費増税により負担が増えるのではないか。
A 国から全体的に社会保障制度を見直すと聞いている。

反対討論

10月に消費税の引上げ。段階的な特例軽減の廃止で高齢者の負担が増大。2年ごとに値上げされ、75歳の年齢で差別する医療制度は廃止すべき。

森岡 譲

賛成討論

軽減特例措置は政令本

則の割合となるが、低所得者の方に対して軽減措置適用の基準額が拡大されるなど、一定の負担軽減措置は継続される。

長岡 一夫

賛成多数で可決 （賛成14人・反対5人）

介護保険予算

予算総額49億7千万円、前年比2億円増。一般会計より6億9千万円を繰り入れる。

Q 保険料は、前年度所得により決定するが、離職により無収入になった方への対応は。
A 個別に、分納等支払い方法を丁寧に案内している。

都市基盤整備が

反対討論

27年から利用料の負担が所得によって2割、3割に引き上げられた。収入減になる人の救済策もなく低所得者の負担増になるため反対。

森岡 譲

賛成討論

今後高齢者人口は増加し社会全体で支えあわなければならない。住み慣れた地域で安心して暮らせるように、制度が継続される事を願い賛成。

高岡 伸行

賛成多数で可決

(賛成14人・反対5人)

30年度

一般会計補正予算

9億4千万円を追加し、総額297億円とする。教育施設空調設備整備費等を追加するもの。

反対討論

年度末の皆減と皆増の

予算が目立つ。予算計上が遅い。市民の福祉目的の寄付を全く動いていない基金に積み上げるのは、市民の善意を生かせない。

酒井 弘一

賛成討論

市立小中学校および幼稚園空調設備整備事業に対する予算が計上されている。また、財産収入として土地の売り払い収入も計上されている。

長岡 一夫

賛成多数で可決

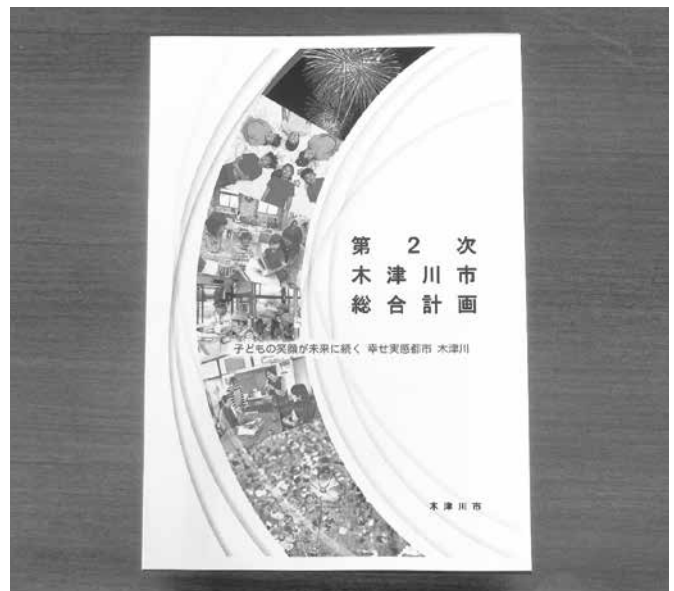
(賛成14人・反対5人)

第2次木津川市総合計画

まちの将来像を具現化するため、次の10年間のまちづくりを進めることを目的として、取り組む政策や事業の基本方向を示すために策定。

反対討論

児童虐待防止は、国民



10年間のまちづくりの基本となる総合計画

反対討論

の重大関心事で、喫緊の課題である。市の第2次総合計画では児童虐待問題が弱く、児童相談所の説明もない(☎1189) 九社前事朗

賛成討論

審議会でも市民を交え、2年間議論して作成。財政が厳しい中、子育て・高齢化対策も含む内容。持続可能な市の運営を今後も期待できる。

賛成多数で可決

(賛成14人・反対5人)

宮嶋 良造

自転車駐車場条例の一部改正

市が設置する自転車駐車場で加茂駐輪場(2カ所)を10月からすべて無料にするための改正。

全員賛成で可決

議会委員会条例の改正を議員提案

議員定数を改正したことにより、常任委員会の定数を変更する。

総務文教は8人から7人へ、産業建設は7人から6人に変更する。厚生は7人のまま変更なし。

全員賛成で可決

倉 克伊

職員の勤務時間、休暇等条例の一部改正

超過勤務命令を行うことができる上限を規則で定めるための改正。

反対討論

「働き方改革」法の改善をそのまま職員に押しつける。時間外労働の上限を月80時間の「過労死ライン」を超え、過労死ラインを合法化する。

宮嶋 良造

賛成多数で可決

(賛成14人・反対5人)

新学校給食センター厨房機器買い入れ

センターで使用する調理機器、洗浄用機器等を買入れるもの。契約総額3億300万円。

全員賛成で可決

放課後児童クラブ条例の一部改正

支援員の資格要件を専門職大学卒業まで緩和。

Q 要件緩和により保育の質を低下させるのでは。

A 府が開催する研修を受講してもらう。

反対討論

「全国的に一定水準の質」を保障する放課後児童支援員の資格を定めたのは前進。今回の基準の撤廃、緩和は質の向上に背を向けるもので反対。

森岡 譲

賛成討論

児童数は今後とも増加が見込まれる。改定により放課後児童支援員有資格者の要件が緩和され、幅広く人材を募集することが可能となる。

谷口 雄一

賛成多数で可決

(賛成14人・反対5人)

学校給食センター条例の一部改正

栄養教諭の職を条例で規定することで、組織運営を適正化する。

全員賛成で可決

歴史文化基本構想策定委員会条例の制定

市内の文化財を適正に



釈迦如来坐像(国宝)で有名な蟹満寺

保存、活用するため、3力年で基本構想を策定。
全員賛成で可決

公共下水道・水道使用料徴収条例の改正を議員提案

公共下水道・水道使用料にかかる消費税率を市議会で審査、議論するための条例改正。

反対討論

消費税率は、国民に同じ税率で課税されるべきものであり、国会で決定されるもの。税率の数値を市議会で議決する必要はない。反対。

森本 隆

賛成討論

元々消費税率が明記されていた条例を、数字が示されない条例に変えたことは、市民に不誠実。議会の審議・議決権も侵害している。改正に賛成。

酒井 弘一

賛成少数で否決

(賛成5人・反対14人)

人事案件

○教育委員

佐脇 貞憲 氏

委員

○固定資産評価審査

高瀬 哲也 氏

安田 琴美 氏

原 香織 氏

○監査委員

西井 正 氏

○公平委員

池田慶四郎 氏

横谷富士男 氏

藤木美能里 氏



平成31年2月16日
西岡政治議員が

急逝されました。

議員として17年間、山城町、そして木津川市の発展に大きな功績を残されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。

請願

山城町神童子上ノ滝、大規模太陽光発電所設置計画反対及び太陽光発電パネルの設置・管理に関する規制条例の策定を求める請願

請願者

木津川市コミュニティバスの改善を求める会

天野 恵子・大窪 成子

大西 みき・中島勢津子
大山 順子・藤岡 純子

紹介議員

九社前串朗・宮嶋 良造

請願項目

①加茂町域・山城町域のバス路線の土日運行を。

②加茂町域のバス路線を木津駅まで延伸、市内で循環を。

③山城町域のバス路線を祝園まで延伸。

④乳幼児連れ、学生、70歳以上のバス料金を100円に。

提出者

宮嶋 良造
九社前串朗

賛成者

2018年10月、辺野古に新基地建設反対を掲げた知事を沖縄県民が選んだが、民意を無視し工事を強引に進めている。

①日米地位協定を見直すこと。②政府は地方自治の権限を保証すること。

Q 米軍基地が悪と読めるが削除できないか。

A (提出者) 安保の是非を言っていない。県民の意思を尊重すべきである。

賛成少数で否決 (賛成8人・反対11人)

意見書

保育の無償化、待機児童解消、保育士の待遇改善のための必要な措置を求める意見書

提出者

酒井 弘一

賛成者

河口 靖子・九社前串朗

必要な財源を確保し、誰もが安心できる保育の実現と無償化を実施するように求める。

①無償化に財源をとられることによって、保育の質的・量的拡大が停滞することがないよう、国として十分な予算を確保すること。②保育士等職員の配置基準の改善、賃金の引き上げなど処遇改善

Q 無償化の財源は消費税である。増税に対する考えは。

A (提出者) 反対である。なくてもできる。消費税分は軍事費や大型公共事業に回っている。

Q 消費税アップがなければ、後世につけを残さないか。財源の根拠は。

A (提出者) 財源は政府が考えること。意見書は国民の思いを示すことである。

賛成少数で否決 (賛成8人・反対11人)

太陽光発電設備の設置に
関し万全な安全対策と慎重な審査を求める意見書

請願書が採択されたことを受け、知事宛に、意見書を提出するもの。

提出者

倉 克伊

賛成者

山本 和延・長岡 一夫
酒井 弘一・森本 茂
島野 均・九社前串朗

太陽光発電施設の設置に伴う開発の申請書が提出された時は、影響を受ける下流域の住民の計画中止を願う思いを理解し、審査を求めるとともに、また、「府民の生命と財産を守る」ことを念頭に置き、市議会の請願採択の結果も踏まえ、慎重な審査を要望する。

全員賛成で可決

全員賛成で採択

コミュニティバスの改善を求める請願

①②④は賛成少数で不採択 ③は賛成多数で採択

項目別採決の動議が提出された。

①②④は賛成少数で不採択 ③は賛成多数で採択



米軍普天間基地

児童増加に対応 城山台小の教室と児童クラブを増設

予算特別委員会

3月11日・12日・13日の3日間、議長を除く全議員で予算特別委員会を開会。（委員長 森岡譲・副委員長 柴田はすみ）
283億円の一般会計を審査し、賛成多数で可決した。

主な質疑

市長直轄組織・マチオ
モイ部・総務部・行政
委員会・議会事務局

LEDで電気代を節約

Q 防犯灯のLED化で、電気代節約の効果は。また、進捗状況は。
A 電気代で28%削減できる。
今後は駐輪場、駐車場、公共施設のLED化を図る。

ふれあい農園の廃止に伴う境界復元は

Q ふれあい農園の境界復元委託料の内容は。
A 平成4年にスタートしてから面積が明示されていなかったため、境界復元の測量を行う。
面積は、木津農園4筆3613㎡、鹿背山960㎡。

地域担い手支援事業

Q 地域担い手支援事業補助金の補助団体は。

A 九条ネギ生産組合、山城の野菜部会、加茂のごぼう部会の3団体。

加茂支所の故障中の玄関ドアは

Q 玄関の自動ドアが3カ月以上作動していない。修理の見通しは。
A 当初予算で対応する予定だったが、傷みが激しいため、30年度中に修理する。

消防団の団員確保を

Q 消防団運営費で、消防団員の報酬は何人分か。また定員は。
A 776人が定員。実数は707人。予算は715人分組んだ。

Q 団員を増やす手立てと今後の取り組みは。

A 勧誘は重要な取り組みであり、特に女性部では新規団員の勧誘を行っている。

今後は、大学生の勧誘に力を入れる。



女性消防団員（出初式）

城山台小の児童クラブは 早期に建設を

Q 城山台小学校の児童クラブの建設の手順は、また、構造は。

A 31年に工事に着手する。設計・施工については一括方式で行う。現在はプロポーザルにより事業者募集中である。建設の内容は、延床面積が400㎡で2階建ての4教室である。



児童クラブが増設される城山台小学校

エコ生活の応援を

Q エコ生活応援補助金が大増となっているが内訳と件数は。

A 家庭向け太陽光発電の補助金が前年度より76件増の、106件分を計上。

生ごみ処理容器の補助金20件と、雨水タンク補助金30件は昨年度と同じ。

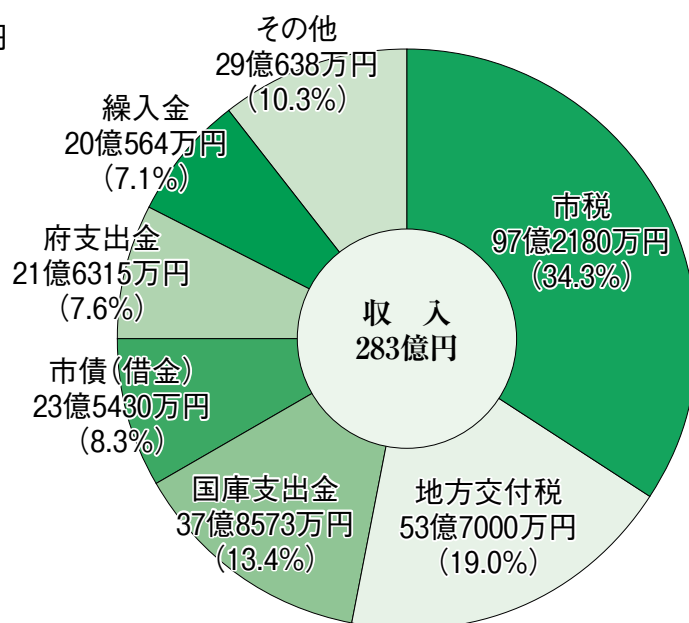
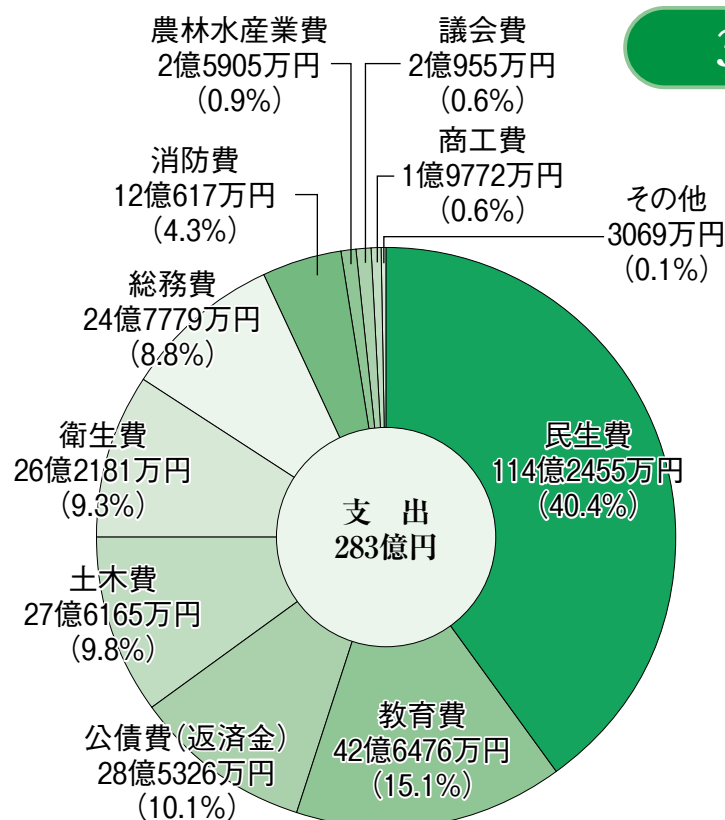
Q 太陽光発電設備設置に係る補助金の申請について、31年度に持ち越された件数は。

A 30年度は67件の申請のうち28件を実施。31年度に39件が持ち越しとなった。

Q ごみ減量化施策の「市民提案型ごみ減量活動補助金」の概要は。

A 要綱を作成中で、NPOやボランティア団体、自治会等、市民の多様な発想で減量を進めてもらいたい。

31年度一般会計予算



(万円未満は切り捨てのため合計金額は一致しません)

風疹対策をしっかりと

Q 風疹感染症拡大防止の予防接種について

①接種費用は、国から全額補助されるのか。

②対象者数は。また、申し込み方法は。

A ①全額国からの交付税で対応される。

②39歳以上が3年間無料で受けられる。1年目は昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれまでの男性が対象で、個別に通知する。

建設部・教育部・上下水道部

施設の管理は確実に

Q 加茂文化センターの時計の修理が遅い。また、東部交流会館のLED化と、側溝の溝蓋の改修予定は。

A 時計の修理は現在指定管理者で見積もり中。LED化については、4カ所中2カ所の交換と溝蓋の設置を計画している。

Q 城山台小学校の増築計画の概要は。また、現在の教室数と合わせて何

A 時計の修理は現在指定管理者で見積もり中。LED化については、4カ所中2カ所の交換と溝蓋の設置を計画している。

水量に対応できる設計を

Q 来年度着工予定の木津町内垣外地区の木津小学校の北西方面にある小川への排水施設改修の内容は。

A 工期は推進工法で1年。予算は1億円。延長は50m。管の直径は80cmから1mと考えている。

どうなる城山台小の増築

Q 城山台小学校の増築計画の概要は。また、現在の教室数と合わせて何

A 補修計画は26年に策定。31年度に見直したい。

Q 老朽化が著しい道路の31年度の補修計画は。

A 市道6路線を実施予定。梅美台のスーパー前1kmを緊急に対応。

学校エアコン維持費用は

Q PFI事業による学校エアコン整備、維持費の詳細は。

A 13年間分割払で、年間支払い額が光熱費を除いて約4千万円。

Q 光熱費の見込みは。

A 学校ごとに、従来の約1・5倍の予算を計上。

教室になるのか。それで大丈夫か。

A 鉄骨3階建て12教室を増設する。合わせて44教室となり、現在は大丈夫と考えている。

道路補修費を増額

Q 市道の路面調査を10年前に実施したが、改善されていないのでは。

A 補修計画は26年に策定。31年度に見直したい。

Q 老朽化が著しい道路の31年度の補修計画は。

A 市道6路線を実施予定。梅美台のスーパー前1kmを緊急に対応。

ICT教育の拡充

Q ICT事業4200万円の内訳は。

A 新規購入の電子黒板10台分914万円と、残りは25年度から進めてきた既存分の賃借料。

賛成討論

城山台小学校の増築、児童クラブの増設など着実に取り組んでいる。

賛成多数で可決

反対討論

大型開発に熱心で、木

造住宅耐震改修の地元上乗せ補助金をなくす。

一般会計予算の主な施策

◆子育て支援

*城山台児童クラブの増設

2億1742万円

*つどいの広場開設(城山台商業施設内)

589万円

◆教育

*(仮称)新学校給食センターの整備

15億5962万円

*城山台小学校校舎増築の設計費

5676万円

◆商工業

*プレミアム商品券発行事業への補助金

150万円

◆防災

*ブロック塀の安全対策補助金

120万円

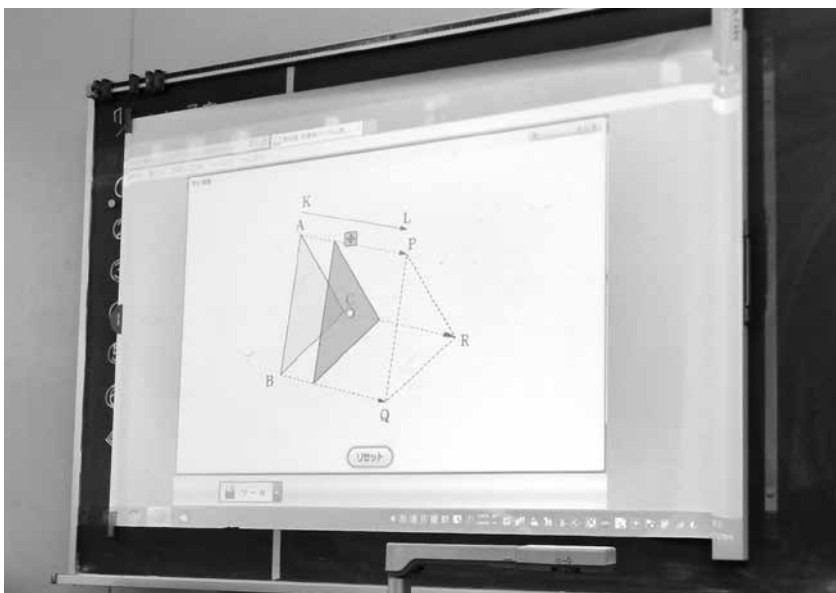
*河川監視カメラの運用

325万円

*加茂人権センター耐震補強等改修

8684万円

(万円未満の金額は切り捨て)



拡充される電子黒板

第2次総計 目標人口を 8万人に

総務文教委員会

2月25日に委員会を開会し、議案14件、請願1件、報告3件を審査した。

**全議案可決
請願1件一部採択**

**職員の働き方改革に伴う
超過勤務時間の上限を定
める**

Q 規則で定める超過勤務時間の上限は。

A 原則は月45時間、年間360時間。例外は、月100時間、年間720時間と考えている。

反対討論

時間外労働の上限規制は過労死ラインを合法化する。

賛成多数で可決

第2次総合計画の策定

Q 将来像にある「子ども」の笑顔が未来に続くもの。

A 大切に育てられた子どもがまた本市に住みたいと思う、またそこに住む高齢者も敬い、高齢者は子供を大切にすること、サイクルが未来に続くまちを将来像とした。

Q 今後、市民へ周知する方法は。

A 市広報やHPの中で、お知らせしたい。



10月から無料になる加茂駅前駐輪場

Q 地域公共交通の利用者の目標数値30万人はどのようにして決めたのか。

A 1次計画から30万人と設定。収支比率5割を目標に利用促進を図る。

反対討論

計画中の「適正な負担等」は、市民に対し負担と我慢を押し付ける。

賛成討論

今後も持続可能なまちづくりの計画を進めることに賛成。

賛成多数で可決

加茂駅前駐輪場を無料に

本年10月より施行。

Q 駐輪場内の放置自転車の対応は。

A シルバー人材センターに委託し、規定に基づき適正に対応する。

全員賛成で可決

歴史文化基本構想策定委員会条例の制定

Q 条例制定のメリットと今後の流れは。

A 補助金が受けやすく

なる。

構想を策定後、文化財保存活用地域計画を作り、文化財を活用した事業を進めたい。

全員賛成で可決

(仮称)新学校給食センター厨房機器の買い入れ

契約額 3億348万円
相手先 (株)中西製作所
京都営業所

Q 予定価格からすると落札率56・2%になるが妥当か。

A プロポーザル方式により業者を決定。契約額は妥当と考える。

全員賛成で可決

コミュニティバスの改善を求める請願書

請願者2人から意見陳述後、質疑を実施。

述後、質疑を実施。

Q JR大和路線の乗降客数を減らさないためにも加茂から木津は電車を使う方が良いのでは。

A (請願者) バスを走らせてほしいとの声も多々ある。どうしても乗ってもらえるのかも協議会で話し合ってみよう。

Q 市民ニーズを確かめるためにも試験的に運行することはどうか。

A (請願者) 市民の声はあるが、何人乗るか分らない。市民の声を聞きバスを走らせてほしい。

質疑後自由討議があり、4項目の内「山城町のバスを精華町との広域で検討し、祝園へ延伸すること」を、賛成多数で採択。その他は不採択。

3つの 特別会計予算を 可決

厚生常任委員会

2月26日、委員会を開会し、
議案9件を審査した。

全議案可決

国保予算

予算額は71億4292
万円。

全員賛成で可決

予定。

Q 税の引き上げがない
ことは評価する。今後の
見通しと基金の実績は。

A 国保広域による税負
担の分析と評価はこれか
ら。年度末基金は、3億
9千万円を見込む。

Q 人間ドックと特定健
診の受診状況は。

A ドックは、今年17
86人申し込み、来年度
1800人予定。特定健
診は今年3003人申し
込み、来年度3200人

後期高齢者医療予算

予算額は8億7031
万円。

Q 9割軽減、8・5割
軽減の対象者数は。

A 1280人、112
6人。他に5割軽減66
1人、2割軽減817人。

Q 10月に7割軽減に戻
る。どうなるのか。

A 府広域連合でも議論
している。府と国の支援
を求めている。

反対討論

市民の生活が苦しい中、
9割軽減の方が7割軽減
となり負担が増える。

賛成多数で可決

介護保険予算

予算額は49億6837
万円。

Q 認知症カフェ事業の
詳細を。

A 市の委託は3地域に
3カ所、他に事業者が単
独で6カ所行っている。
委託費は99万円。

Q 利用者負担で1割か
ら3割の人数は。

A 1割2757人、2
割192人、3割102
人。

Q 加茂の地域包括支援
センターの受託者が辞退
した理由は。

A 4事業者とも赤字経
営で、今回委託料を引き
上げた。赤字の大きな要



介護予防サポーターによる体操教室

反対討論

総合事業は、保険制度
の改悪。年金340万円
で3割負担は過酷。

賛成討論

高齢者が安心して住み
続けられる予算。認知症
施策も計画されている。

賛成多数で可決

因は、相談件数の増加。

学童支援員の資格要件の 緩和

専門職大学卒業生、5
年間の経験者を支援員の
資格要件に追加する。

Q 現在の指導員の体制
は。

A 嘱託職員は、全員有
資格者で36人、臨時職員
は39人。

山城「ミセン」の指定管理

これまで同様に市社協
を指定管理者に指定。

全員賛成で可決

反対討論

質の低下を招く緩和で
あり、必要なのは、支援
員の処遇改善。

賛成討論

質の低下をさせず独自
の研修も実施しているこ
とを評価し賛成。

賛成多数で可決

Q 保護者の不安解消が
必要では。

A 指導員採用時の面接
でしっかり見ていく。指
導員会議は毎月開催。保
護者会との意見交換も行
っている。

豊かな森を 育てるため 基金を設置

産業建設委員会

2月27日、委員会を開会し、議案9件、議員提案2件、請願1件、報告1件を審査した。

全議案可決・請願採択
発議2件は否決

公共下水道事業会計予算

Q 流域下水道負担金の内訳について説明を。

A 木津川上流流域は、処理施設の屋根工事として5262万円、洛南浄化センターでは、中継ポンプ場の整備工事費として3220万円を負担。

全員賛成で可決

企業立地促進条例の改正

Q 第二種住居地域を準工業地域に変更する目的は。

A 企業にとっては、研

究・開発の施設のみならず試作・商品化・製造までを一貫して事業展開ができるため。

研究開発地区建築条例等の改正

Q 地元自治会等への説明会や意見は聞いたのか。

A 兜台6丁目は12回、相楽台2丁目は5回、精華町桜が丘1丁目は3回開催。学研都市にふさわしい企業を誘致してほしい等の意見があり、反対の意見はなかった。

Q 相楽中部消防署木津西出張所が都市計画変更区域に編入された経過は。

A 府との協議において、ゾーニングの観点から編入した。

全員賛成で可決

森林整備等基金条例の制定

Q 森林環境譲与税の使用

全員賛成で可決

Q 豊かな森を育てる府民税の使途は。

A 森林資源の循環利用の推進や啓発として、林道の整備、教育現場での木材製品の資材に活用。

途はどう考えているのか。

A 間伐、伐採等による森林保全整備、人材育成、担い手確保、木材利用の促進や普及啓発に活用。

公共下水道使用料、水道事業給水条例の改正を議員提案

Q 消費税の税率を明記する意図は。

A (提案者) 国の法律が改正されたのに、条例を改正しないほうが例外。消費税の是非に関係なく、形式的な条例改正である。

Q 消費税等は、市町村の議会で議論をする必要がないと思うが。

A (提案者) 地方自治体も一つの権限を持った団体。有権者から選ばれた市長、議員が審議すべき。

各委員の考え方を確認するため、自由討議を実施。

反対討論

消費税率は国会で議論を重ね、決定されるべきものであり明記は不要。

賛成討論

水道料金の消費税は逆

進性が高い。議員として審議するのが議会の場。賛成少数で否決

山城町神童子、大規模太陽光発電所設置計画反対等を求める請願書

請願者2人が意見陳述。昨年の台風等により被災した神童子現況写真、神童子区・北河原区・南平尾区の連名による撤退に関する協定書等を添付し、府に対する積極的な取り組みを要望。

Q 業者から地元に対して説明はあったのか。

A (請願者) 3地区が地元として関係するが、一番上流の神童子地区の役員に対し、2度概要の説明があった。

全員賛成で採択



新たな企業を(ハイタッチリサーチパーク)

組 合 議 会 報 告

第4次経営計画がスタート

(山城病院組合)

2月6日、定例会開会。承認1件、同意1件、議案6件を審議。

公平委員に仲北悦雄氏(笠置町)を選任。

全員賛成で同意

31年度の病院予算は、事業収益、事業費用ともに78億7千万円。

電子カルテの更新、健診の充実の費用を反映。地域医療の確保、質の向上を図る第4次経営計画がスタートする。

Q 1日平均診療額が大幅に増額となっているが理由は。

A 高額な薬を使用して治療する外来患者が増え

るなど今年の実績を踏まえ予算を計上したため。

全員賛成で可決

31年度の老健やましろ予算は、事業収益、事業費用ともに5億3920万円。

全員賛成で可決

診療録開示手数料5千円を1千円に引き下げる条例改正。

全員賛成で可決

予算1970万円を可決

(加茂笠置組合)

2月8日、定例会開会。議案2件を審議。

31年度予算は、収入支出ともに1970万円。主な収入は、線下補償

金1252万円、財産貸付収入363万円。

主な支出は財政調整基金や自治振興基金への積立などに1482万円、非常勤嘱託職員報酬等の財産管理費438万円。

全員賛成で可決

30年度補正予算は、収入支出ともに30万円を減額し、総額8009万円。主な内容は収入では、土地貸付料の減額。支出では、議員研修の費用確定による減額。

全員賛成で可決

保険料均等割額の軽減割合の改正

(後期高齢者医療)

2月8日、定例会開会。議案5件、同意1件、請願1件を審議。

公平委員に、藤木美能里氏(木津川市)を選任。

31年度一般会計予算は、予算総額7億8227万円、収入は、市町村からの分賦金・国・府支出金。支出は、事務局運営に係る経費。

賛成多数で可決

31年度特別会計予算は、予算総額3479億9026万円で、収入は、市町村支出金、国・府支出金、支払基金交付金。支出は、保険給付費等。

賛成多数で可決

医療に関する条例の改正は、保険料軽減の拡充保険料軽減特例措置の見直し。

9割、8・5割軽減対象者に対し、均等割額の軽減割合の改正を行うもの。

賛成多数で可決

新センター稼働による予算審議

(環境施設組合)

2月13日、定例会開会。議案1件を審議。

31年度一般会計予算は、総額8億5470万円で前年対比26・9%増。収入は、分担金、ごみ処理手数料、余剰電力売電料、地方債。支出は、ごみ焼却処理経費、打越台環境センター解体撤去費、フ

Q ごみ投入量は変化しているのか。
A 市の民間委託していた分と公園等の草・剪定枝などが増加。
Q 市のごみ袋有料化に伴うごみ減量分は。
A 31年度予算には見込んでいない。
賛成多数で可決



環境の森センター・きづがわのごみピット

エニックス事業などの塵埃処理の負担金等。

山城・東部出張所救急自動車の更新

(相楽中部消防組合)

2月18日、定例会開会。議案7件を審議。

31年度予算は、管理者の任期末を控え経常的経費が中心の予算編成となっているが、前年度比6千万円増の14億8720万円を計上。

主な内容は、高機能消防指令装置の情報系部分更新と、山城・東部出張所の高規格救急車及び資材搬送車を更新。

全員賛成で可決

30年度補正予算は、286万円を増額し、総額14億3079万円を計上。人事院勧告による給与・手当等の増額。

全員賛成で可決

情報公開条例及び個人情報保護条例の全部改正

については、国や他自治体を参考に全部改正するもの。

職員の給与に関する条例の一部改正については、人事院勧告に基づく給与改定。

全員賛成で可決

し尿処理手数料を改正

(相楽郡広域事務組合)

2月18日、定例会開会。議案6件を審議。

31年度一般会計予算は、4億7900万円。

主な内容は、大谷処理場運営経費1億6422万円、消費生活センター運営経費1278万円等。また、施設の長寿命化に向け大谷処理場大規模改修費として1億8607万円等。

Q 消費税10%で計上しているかどうか。

A 国・府の補助金が、

年度末に消費税10%分支給されるため。

賛成多数で可決

31年度特別会計予算は、2160万円。

主な内容は、休日応急診療所運営経費1821万円、ふるさと市町村圏振興事業317万円などである。

Q 文化のつどいの補助金は計上されていないが、

賛成多数で可決

理由は、

A 利子収入が約100万円であり、「お茶の京都」を優先して予算化した。

賛成多数で可決

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正。し尿処理手数料を10リットルにつき126円を128円にするもの。

市負担金は2172万円

(京都地方税機構)

2月23日、定例会開会。議案3件を審議。

副議長に長野恵津子氏(宇治市)を選出。

31年度一般会計予算は、22億5149万円。

本市の負担金は、6172万円。

賛成多数で可決

30年度一般会計補正予算は、3億4584万円を増額し、総額25億6754万円とする。

本市の負担金は847万円増額で、6737万円となる。

全員賛成で可決

京都地方税機構広域計画の変更は、第2次広域計画を踏襲し、構成市町村が密接な連携を図りながら、関係する事務を総合的・効果的・効率的に処理するための指針を策定するもの。

賛成多数で可決



相楽地域のし尿処理を行っている大谷処理場

普通教室空調設備に国から交付金

補正予算特別委員会

2月28日に委員会を開会。一般会計予算を9億3605万円増額し、297億1350万円とするもの。賛成多数で可決。

主な質疑

普通教室空調設備

Q 普通教室空調設備整備事業は、15億800万円の契約であるが、支払いの内容は。

A 整備費の4分の3を一括払いし、残り4分の1と維持管理費分を13年間で支払う。

自治振興事業

Q 自治振興事業費が118万円減額となっている理由は。

A 城山台地区で自治会が発足する予定であったが、30年度に交付できなかったため減額した。

民間保育施設運営補助事業

Q 保育所等ICT化推進の内容は。

A 児童の登園状況をシステム化するもの。認定こども園等の3園に導入。

Q 保育園事故防止事業と落下防止事業の内容は。

A 寝返り等による窒息死の防止と、遊具の下にクッションを敷き、事故防止するもの。

旧大野排水樋門撤去工事

Q 旧樋門撤去事業費4119万円全額減額した理由は。

A 仮設道路が必要で、設置に国の河川占用許可

が必要である。

山からの排水を木津川に流す必要があり、地元は排水管を2カ所要望しているが、河川管理者の許可は1カ所であり、国と府が協議中で、市も協議に参加しているが、長引いているため。

小川内水対策事業

Q 事業の減額内容は。国の他事業とは何か。

A 国の浸水想定区域図に、3日以上滞水する場所に、3日以上滞水する場所が木津地域にあり、30年度内水排除の検討をする予定であったが、国が

同種の検討業務を発注されていることから、減額した。

東中央線の整備

Q 事業の整備状況は。

A 国道163号の山城側は平面交差、JR跨線橋は柵と舗装が残っている。鹿背山口部分は施工中、31年度末供用を目指す。

反対討論

事業に対して皆減・皆増が多い。早く補正するべき。改善を求め反対。

賛成多数で可決



31年度供用開始（東中央線木津川架橋）

補正予算第5号の主な事業

| | |
|----------------|------------|
| 幼小中普通教室空調設備整備 | 8億2,139万円新 |
| (うち国交付金1億9千万円) | |
| 民間保育施設ICT化等推進 | 575万円新 |
| 東中央線整備事業負担金 | 267万円増 |

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 伊藤紀味枝 |
| 副委員長 | 長岡一夫 |
| 委員 | 谷口雄一 |
| 柴田幸子 | 西山幸子 |
| 山本和延 | 炭本範子 |
| 谷川光男 | 片岡克伊 |
| 酒井弘一 | 酒井弘一 |

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載

賛成=○ 反対=× 退席=△ 欠席=空白 議長は採決に加わらない

| 議員名 | 会派名 | 議案名(第1回定例会) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------------------------|-------------------------------------|---------------|----------------------|-------------------|--------------------|-------------|------------------------------|--------------------------------|-------------|------------------------------------|-----------------------------------|----|-------------------|---------------|---|--|
| | | 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 | 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 | 平成31年度 一般会計予算 | 平成31年度 後期高齢者医療特別会計予算 | 平成31年度 介護保健特別会計予算 | 平成30年度 一般会計補正予算第5号 | 第2次市総合計画の策定 | 津川市バス改善の請願書 | 木伊る | コ改 | ユを | ニ求 | テめ | 公共下水道使用料徴収条例の一部改正 | 水道事業給水条例の一部改正 | 全国知事会の「米軍基地に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを求める意見書 | 保育の無償化、待機児童解消、保育士の待遇改善のための必要な措置を求める意見書 |
| | | | | | | | | | 加茂町域・山城町域のバス路線の土日運行を実現してください | 加茂町域のバス路線を木津駅まで延伸し、市内で循環してください | 祝園へ延伸してください | 山城町域のバス路線を精華町との広域で検討し、を100円にしてください | 乳幼児連れ、学生、70歳以上の方のバス料金を100円にしてください | | | | | |
| 谷口 雄一 | さくら | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 森本 隆 | さくら | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 高岡 伸行 | さくら | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × |
| 山本 和延 | さくら | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 伊藤紀味枝 | さくら | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 尾崎 輝雄 | さくら | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 倉 克伊 | さくら | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × |
| 長岡 一夫 | 民主未来 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ |
| 河口 靖子 | 民主未来 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ |
| 炭本 範子 | 民主未来 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | ○ |
| 西山幸千子 | 共 産 | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 森岡 譲 | 共 産 | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 宮嶋 良造 | 共 産 | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 酒井 弘一 | 共 産 | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 森本 茂 | 木津川 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 片岡 廣 | 木津川 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × |
| 谷川 光男 | 木津川 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × |
| 柴田はすみ | 公 明 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 島野 均 | 公 明 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 九社前隼朗 | 無 会 派 | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 高味 孝之 | 議 長 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 採決結果 | | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 不採択 | 不採択 | 採択 | 不採択 | 否決 | 否決 | 否決 | 否決 | 否決 | 否決 |

さくら=さくら会 民主未来=民主未来クラブ 共産=日本共産党木津川市議員団
木津川=木津川の会 公明=公明党 無会派=会派に属さない議員

一般質問

15人が市政を問う



木津川市役所
KIZUGAWA City Office

<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

議会中継 スマホに対応



インターネットで市議会の
生中継や録画配信が
ご覧いただけます。

木津川市議会

検索

虚弱(Frailty)⇒フレイル

- ①中間の時期 (⇒健康と要介護の間)
- ②可逆性 (⇒様々な機能を戻せる)
- ③多面性 (⇒色々な側面の負の連鎖)



新概念「フレイル(虚弱)」2019年2月
月刊公明、飯島勝矢氏 論文より転載

フレイル対策で介護リスク減に

フレイルチェックを実施している

Q フレイルとは、介護が必要な手前の状態。介護予防が重要となり、三位一体(栄養・身体活動・社会参加)によるフレイルチェックが必要と思うがどうか。

フレイルとは、介護が必要な手前の状態。フレイルチェックは必要であり、要支援の方に実施している。

風疹の拡大防止を

フレイルチェックが必要と思うがどうか。

A 健康福祉部 高齢者運動器機能向上事業、生きがい対応型デイサー

Q ①市の風疹患者数は何人か。②予防接種政策でワクチン接種を受



公明党

島野 均

けていない世代の対策は、③妊娠を希望されている女性とパートナーへの予防対策は。

A 健康福祉部①罹患者は1人で、現在完治。

②昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性に無料で抗体検査、定期接種予定。

幼児教育無償化

③予防接種費用の3分の2を助成。

Q 今年10月から幼児教育が無償化される①国の交付金は。②保育士の処遇改善は。

A 総務部・健康福祉部①31年度は、全額交付金で対応。2億円計上。

②30年度は、月額3万8千円。31年度は、3千円増額する。

Q ①有料後のごみ量は。②紙や生ごみを減らすなら廃プラごみを混ぜるな。③リサ研の復活を。④ごみ有料袋は中止を。

A 市民部①前年比で10月16・3%減、1月7・7%減。②廃プラの分別はしない。③復活の考えはない。④有料指定

Q ①公立保育園の無償化財源は100%市の負担。園の廃止と民営化が進む。②市幼稚園の年少組の定員を増やせ。③給食費を無償にせよ。

幼児教育無償の課題

有料指定袋制に理解と協力を

ごみ有料袋は中止し市民力で減量



日本共産党

宮嶋 良造

④保育料を上げるな。

A 健康福祉部・教育部①園の廃止と民営化は加速しない。②慎重に検討する。③国が検討する課題。④現在、試算している。

職員の待遇改善を

Q ①サービスの削るな。②基金の活用を。

A 市長・総務部①市民サービスの再編・縮小や廃止は必要。②災害対応の基金が必要。

市民サービス向上と財政

20年度改善する。

Q ①職員の健康は万全か。②臨職の給料日の改善は。

A 市長室①健診率は97・7%受診。②2020年度改善する。



有料指定ごみ袋は中止を



2020年から始まるプログラミング教育

重すぎる通学カバンの改善を
具体策を検討している

Q 2020年から始まる教育改革について①「プログラミング教育」必修化は。②「外国語学習」の取り組みは。

A 教育部①児童がプログラミングを体験しながら思考力を身につける学習で州見台小が研究校として指定。②相楽台

小が研究指定校で、外国語活動を進めている。5・6年生で70時間予定。児童数の減少が続く恭仁小学校の今後の計画は。

A 教育部 小規模特認校制度については、保護者、地域の方と話し合う。

Q 教師の負担軽減対策は。

A 教育部 学校行事等に、府に専科教員を要望。更なるごみ削減施策を

Q 可燃ごみ有料袋制が始まって5カ月が

A 市民部①容器は9拠点、防護ネットは37拠点から補助の要望があった。容器購入の補助率は4分の3。②市民提案型のごみ減量活動に補助金制度を導入。③当初よりは緩和している。一件一件状況を確認し対応。



公明党

柴田はすみ

過ぎた。①拠点収集所の整備状況は。②更なるごみ減量への施策は。③ふれあい収集の要件は緩和されたのか。

早急に学校トイレの洋式化を

今後積極的に進めていきたい

Q 家庭のトイレは洋式が一般的になり、和式になじみのない子どもが増えた。洋式化の計画予定は。

A 教育部 31年度に長寿命化計画の策定を進め、これをもとに大規模改修等の検討を行い、トイレの洋式化を盛り込

んでいきたい。また、施設の年数等踏まえて考えていく。

Q 洋式トイレが急務であるが市の考えは。

A 市長 生徒たちが日々長い時間学校で過ごす。学校施設の長寿命化計画の実施については一定の時間がかかる。ト



さくら会

伊藤紀味枝

危険道路に白線の表示を

Q 木津瓦谷と三桝町の境にある交差点は、変則的であり、小規模開発で、車の交通量が増え危険である。白線や止まれの表示の考えは。

A 総務部 地域からも要望があり、木津警察署に要望を提出した。



泉川中学校洋式トイレ

仮称 大野新設道路の状況は

早期工事着手を要望

Q ①大野新設道路について、国・府・市の協議は。

②樋門について1カ所では問題が起きないのか。
③残念石は万全に守られるのか。
④国に河川整備の要望は。

A 建設部 ①市からは早期工事着手の要望を行っている。

②排水状況を見ながら国・府・市で検討している。
③府と協議し、埋もれないように移設。
④内水排除設備の整備や護岸の強化対策、立木の伐採など強く要望。



木津川の会

片岡 廣

木津川の水辺空間の整備

Q かわまちづくり支援制度に応募の計画を進めては。

A 建設部 水辺空間の整備は、魅力ある街づくりにつながると考えている。

かわまちづくり支援制度の応募を検討する。

ワード

かわまちづくり支援制度とは

地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村や民間事業者、地域住民と河川管理者（国）が連携し、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成をつくるもの。

水辺整備やイベント広場等の利用制度がある。

Q 城山台放課後児童クラブの入会希望者が大幅に増加することです。待機児童が出るのでは。

A 健康福祉部 来年4月に向け、31年度中に小学校敷地内に児童クラブを増築する予定。

Q 「児童数を見込むことができなかった」

Q P C B等の処理対応は。

A 健康福祉部 2階建てで、4教室程度を想定。

Q 過去の負の遺産処理は

Q 防犯灯のLED化の進捗率は。また、公共施設等のトイレの節

A 総務部 法で定められた2021年3月末の期限内に処分を完了する予定。

Q 行財政改革について

A 総務部 31年1月末時点でLED化は、約98%。また、節水バルブの取り替えは、改修・修繕を行うときに併せて実施する予定。



児童の増加が進む城山台小学校

児童クラブ希望者増に伴う対応は 学校の空き教室を利用する



会派に属さない

九社前聿朗

Q 水バルブの取り替えは。

A 総務部 31年1月末時点でLED化は、約98%。また、節水バルブの取り替えは、改修・修繕を行うときに併せて実施する予定。



こんな川に戻そう(約30年前の木津川)

地震時の安全対策確保の拡充を 府の補助金制度を活用する

Q ブロック塀等緊急安全対策支援事業費について、次の点を問う。
①予算が超過した場合の対応は。②今後、国・府の支援は。③31年度終了後も市費で事業の継続を。

A 建設部①府と協議する。②継続の可能性ある。③府の補助金制

Q 排水路の清掃の今後は

A 建設部①府と協議する。②継続の可能性ある。③府の補助金制

Q 排水路の清掃の今後は

A 建設部①29年以降は減少。②状況を確認し対応。③下水道整備の有無に関係なく、地元で実施の方針。



日本共産党

森岡

譲

Q 木津川を美化するために、次の点について問う。①国に要望されているが進展状況は。②国の「かわまちづくり支援制度」の申請は。

A 建設部①堤防の護岸の強化。河川内の立木の伐採を実施。②申請はしていないが、水辺空間の整備は魅力あるまちづくりのため必要。今後検討する。

木津川は泣いている4

住み良さランキング上昇の要因は

子育て世帯人口の増加が主要因

Q 市の住み良さランキングは、全国112位と近年上昇している。①総合ランキング上昇の要因は。②財政健全化ランキングは、全国328位と下位の理由は。③今後の取り組みは。

A 政策監 ①子育て支援ナンバーワンの街づくりが評価されたことによる効果が大きいと分析している。②人口一人当たり地方債残高と地方税収額の指標が低いことが要因。③安心して子育てできる環境づくりを充実すると同時に、行財政改革により財政健全化に取り組む。



さくら会

森本 隆

給食費公会計導入を提案

Q 今年4月から労働法制の大改革が実施される。職員と教員の働き方改革について問う。

①職員と教員の年間残業時間はいくらか。②教員の負担軽減のために、給食費の公会計導入が必要

ではないか。

A 市長室・教育部 ①職員は年間平均99時間、教員は小学校540時間、中学校730時間。②先進自治体の導入事例等の研究を行い、公会計導入を検討する。



安心して子育てできる環境づくりを(増築される城山台児童クラブ)



みんないっしょ「おおぞら小学校」大阪市住吉区

インクルーシブ教育の推進を

実施したい学校があれば考えたい

Q 障がい児を育ててらるの願いを受けて、これまでから先進的な事業を実施している南加茂台地区にある小学校をインクルーシブ教育校として推進しては。

A 教育長 頑張ってくれる学校があったら、

モデルとして考えていきたいと思っている。

Q 発達障害の子供たち、ST(言語聴覚士)、OT(作業療法士)、PT(理学療法士)が受けられるシステムづくりを。

A 健康福祉部 昨年の4月頃に通知が出さ



民主未来クラブ

河口 靖子

れ、ネットワークの構築の動きが出ている。

Q 加茂、南加茂台からの大型商業施設への交通路線の広域化を。

A マチオモイ 考えて

上下水道事業の改善を

Q アセットマネジメント・水道ビジョン改訂業務の内容および進捗状況は。

A 上下水道部 上水道は、1課制に進めたいと考えている。今後、上水道施設の整備費として、10年間で、約63億円を予定。それに向けての組織体制も整えたい考えである。

Q 災害時に多くの市民が指定避難場所である学校に集まるが、設備は十分か。①避難場所である体育館で、スロープがないのは。②体育館に洋式トイレや多目的トイレがないのは。

A 教育部①加茂小・恭仁小・南加茂台小は、
②両方ないのが、加茂小・恭仁小・木津小。多目的トイレがないのが、相楽小・南加茂台小・泉川中。トイレの改善は進める。

Q 避難者が横になるための段ボールベッドは、
合併時には不便をかけるか、支所機能の縮小で

避難所のバリアフリーは十分か スロープを選挙資材で対応する



日本共産党

西山幸千子

A 総務部 訓練用11個を木津南中で保管。災害支援協定で必要数を要請する。

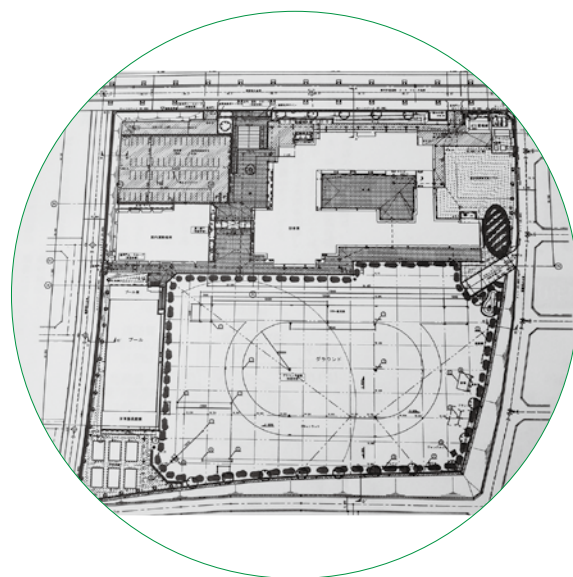
支所機能縮小は約束違反

他に、中学校の制服問題を取り上げた。



【標準通学服（ボタンをとめること）】
男子 標準の上着（ブレザー）とズボン
女子 標準の上着（ブレザー）とスカートまたはズボン（スカートの丈はひざ程度）

女子スラックスのある入学説明書（泉川中）



城山台小学校
：児童クラブ増築場所
：校舎増築場所予定範囲

Q ①31年度ごみ袋収入見込みと利益はいくらか。②19年間民間委託していたのが不要になった財政効果はいくらか。③せめて生活保護世帯には減免により弱者救済を。

A 市長・市民部①収入は7千万円で残金は4千万円を見込む。
Q 特別養護老人ホームに待機なく入所や、在宅介護サービスが持続

Q 超高齢社会のまちづくり
②可燃ごみについては、1億5千万円が効果額。
③全市民でごみ減量を進めるため減免はない。

A 健康福祉部 2025年の問題と全ての高齢者の介護サービス・支援できる事業を推進する。
Q 新規事業は、城山台児童クラブ増設費2億1千万円、城山台小増築設計費5千万円、木津東バイパス天神山線整備8千万円。継続の新学校給食センター建設費15億5千万円である。財政健全化の見通しは。

生活困窮者にはごみ袋の減免を その余裕はない



木津川の会

森本 茂

Q 31年度予算と財政健全化
A 総務部 第3次行財政改革行動計画で、健全な財政運営を進めていく。

瓶原を移住促進特別区域に

しっかり支援していく

Q 瓶原に1年間で、35組の家族が物件を見学に来られた。特区に指定すれば多くの支援がある。補助金は。

A マチオモイ 住宅整備として、180万円等。

瓶原地区の公共下水道は

Q ①合併から12年、方針は。②地域の理解を得たか。

A 市長①府の水洗化総合計画では、個別浄化槽区域。合併浄化槽でお願いする。②地元と話し合いをする。

戸別受信機は必要



民主未来クラブ
炭本 範子

Q 昨年3月、戸別受信機の予算を取り下げた。30年度から特別交付税措置（措置率70%）があるが。

A 総務部 購入希望者には、来年度から持てるよう協議中。

歴史遺産の整備活用は

Q 史跡の今後は。①椿井大塚山古墳。②当尾の石仏。③恭仁宮跡。

A 教育部①地域住民と共生を前提に方針を検討。②悉皆調査後、保存活用地域計画を策定。③52%の公有化となり、府と整備活用を協議する。

他に、働き方改革を質問した。



高齢・要配慮者世帯に必要な戸別受信機



高低差180mの予定地(神童子区)

神童子区のメガソーラーに反対を

水害を恐れる住民の思いを理解

Q 神童子区の巨大な太陽光発電施設建設計画の概要は。28災とは何か、再確認を。他の自治体に学び、市も独自の規制条例制定を。

A 市長・マチオモイ他 面積約48ha、パネル12万枚、38000メガワット規模。水害発生の際、

リスクが高まると心配する要望書を受け、思いを受け止める。

先進自治体を調査し、条例制定の必要性を検討する。

保育所民営化計画変更を



日本共産党
酒井 弘一

Q 今年の一次申し込みで4時間以上待たされる事態があった。なぜか。城山台地域の申請、入園状況はどうか。計画は無理がある、早期の見直しを。

A 市長・健康福祉部 初日は受付が長引いた。城山台地域の申請は

149人、現在の入所児童は704人。来年度の保育は一定確保が可能。計画は適切に進めている。

消費税10%に反対を

Q 深刻な不景気が続く中、10%は暮らしにも経済にも深刻な悪影響。反対の声を。

A 総務部 市として国の法令と制度に基づき事務を進める。

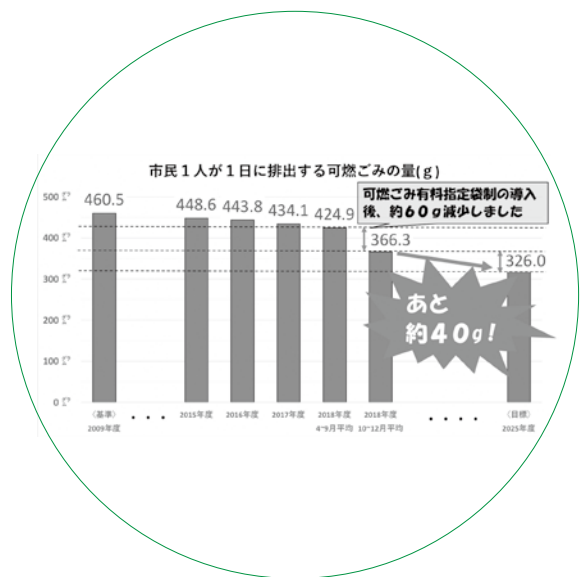
Q ①市の収入(税金等)における現金とキャッシュレスによる納付率は、②口座振替やコンビニ収納の手数料は、③キャッシュレス決済の検討状況は。

A 総務部①水道・下水道使用料以外の市収入納付は、カード実施し

ていない。カード納付率は4・13%。②振替手数料は、1件当たり10円×消費税、コンビニ手数料は1件当たり60円×消費税、水道料金クレジット収納は、平均83・7円。③市も積極的に導入していきたいと考えている。

早期の実施は難しいと考えている

キャッシュレス決済を進めては



可燃ごみの減量が進んでいます(広報さづがわ3月号より)

Q ①公共施設等総合管理計画の進捗状況は、②RPA導入に向けての取り組み状況は、③道路管理(東中央線等)府への移管はいつ頃か、④公立幼稚園の民営化に向けての取り組みは。

今後の見通しはどうか



さくら会
尾崎 輝雄

Q ①公共施設等総合管理計画の進捗状況は、②RPA導入に向けての取り組み状況は、③道路管理(東中央線等)府への移管はいつ頃か、④公立幼稚園の民営化に向けての取り組みは。

A 総務部・建設部他①現在個別施設計画を作成中。②31年度に実証実験を行い、2020年度から本格導入を進める予定。③府と調整中で移管時期は未定。④保護者ニーズを踏まえ、公立幼稚園の民営化、認定こども園化の検討を進める必要がある。

ごみ減量化に向け効果的な推進を
実施方針を基に全庁的に取り組む

Q ①有料ごみ袋制度導入後のごみ排出量の推移は。②ごみ袋手数料の収益見込み額は。③環境意識の啓発は、市民の主体的な協力を得る上で大変重要であると考えている。具体的な施策は。

A 市民部①10月から2月の期間で、前年度

比約16%の減になっており、効果は出てきている。②現時点の見込みで年間約3600万円を想定している。③31年度から、ごみの現状や減量・再資源化に関するチラシを隔月で市の広報へ折込みを行う。またスマホを活用して、ごみの収集日や分



さくら会
谷口 雄一

Q 介護や医療といった各種給付費の抑制につながる観点からも重要な課題である。本市の健康寿命の延伸を目指せ

別などをお知らせする専用アプリの導入も検討中である。

A 健康福祉部 生活習慣の改善による疾病の発症予防や重症化予防等の取り組みが重要である。正しい知識の普及を図り「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の増進につなげていく。

身軽に取り組める事業を検討していきたい。



重要な幹線道路は府へ移管し維持管理を(東中央線)

わたしの意見

このコーナーへの投稿を
お待ちしております。(220字以内)

子供は地域の未来



岩田かおり さん
(加茂町岡崎)

3年前に主人の実家の加茂町瓶原へ引っ越してきました。緑が豊かで静かな環境での子育ては良いと思う反面、子供が大人になった時この

場所はどうなっているだろうという不安を感じました。地域にある恭仁小学校は児童数が年々減っています。そんな中「恭仁っ子大作戦」という団体が発足し、微力ながら私も一員として活動をしています。未来の瓶原にも子供たちの声が響き、活気ある風景があることを願い、今後この活動を続けていこうと思っています。

編集後記

木津川市が誕生して3期目の4年が終わろうとしています。

現在の編集委員による最後の議会だよりをお届けしました。これまでお読みいただき、本当にありがとうございました。一同、悩みながら激論を交わし編集作業を続けました。まだまだ市議会の様子を皆さまに十分に分かってもらえるものをつくって

ません。次号からは新しい議会メ

ンバーで決意新たに取り組みます。

酒井 弘一

広報編集委員会

| | |
|------|---------|
| 委員長 | 河 口 靖 子 |
| 副委員長 | 柴 田 はすみ |
| 委員 | 谷 口 雄 一 |
| 委員 | 森 本 隆 茂 |
| 委員 | 伊 藤 紀 枝 |
| 委員 | 酒 井 弘 一 |

何事にも感謝



松岡 洋祐 さん
(州見台)

私はこの10年、木津川市の少年野球に携わってきました。どの程度子供たちの成長に寄与できたかは分かりませんが、少しでも子供たちのためになればと思います。

ながら、いつしか僕自身も子供たちと共に青春を感じさせていただきました。子供たちには常々、市のグラウンドを何不自由なく使わせてもらえることに感謝するよう伝えてきました。グラウンドがない地域もある中、本当に感謝しています。最後に、「一期一会」。この瞬間を大切に何事にも感謝の人生を歩んでいきたいと思っています。

木津川とともに



吉崎 洋子 さん
(山城町上粕)

堤防にツクシ、菜の花、小さな虫等、子供と一緒に散歩したり夕焼けを眺めたり、四季の移ろいが感じられるこの場所が好きだ。この地で子育てできたこ

とを、幸せに感じる。その子供たちも自立し、夫婦2人となった。周りを見渡せば、そんな家ばかり。空き家も目立つ。バイパスはでき、車は便利になるが免許返納後はどうなる。上粕駅には階段がある。バスの利用も、目的地までずんなり行けそうにない。不安に思うのは、私だけだろうか。

お知らせ

議会議員選挙が執行されたため、6月定例会の日程は5月中旬頃に決定されます。決定しましたら木津川市議会ホームページにて掲載いたしますので、ご確認ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

議会事務局直通

TEL 0774-75-1240

FAX 0774-72-8952

E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp